

教育委員会会議 定例会

令和 8 年 1 月 6 日

提出議案綴

山梨県教育委員会

1 議 案

な し

2 報 告 事 項

(9) 第10回大村智自然科学賞受賞者について

3 その他報告

(11) 令和7年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果の概要について

(12) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

(令和8年1月6日 定例教育委員会)		課名	高校教育課
件名	第10回大村智自然科学賞受賞者について		
経緯	○趣旨 県内の中学生・高校生等の理科・数学及びこれらに関連した分野に対する興味・関心や知的探究心をより一層高めるとともに、新しい才能や可能性を発見し先端科学技術の発展に寄与できる人材の育成を図ることを目的に、大村智博士のノーベル生理学・医学賞受賞を記念し、平成28年度に創設。優れた実績をあげた中学生・高校生等を表彰している。 ○募集期間 令和7年10月1日（水）～11月14日（金） ○応募者数 中学生部門 1件 高校生部門 2件 ○選考委員会の開催 日時 令和7年12月15日（月）		
内容	○受賞者 [中学生部門] 山梨大学教育学部附属中学校 3年 ^{あまみや}雨宮 ^{ほのか}誉華さん 研究テーマ ヒゲナガカワトビケラの糸の消毒液に対する耐性の評価 (主な受賞歴) サイエンスカンファレンス2024 研究発表優秀賞 フューチャーEV0.2025 オーディエンス賞 [高校生部門] 山梨県立巨摩高等学校 自然科学部 2年 ^{さいとう}齊藤 ^{ゆき}有紀さん ^{まえだ}前田 ^{かんた}柑太さん ^{おの}小野 ^{やまと}大和さん ^{かねこ}金子 ^{しょうた}将大さん ^{よだ}依田 ^{ななみ}那々美さん ^{さかもと}坂本 ^{らいち}蕾一さん ^{いいだ}飯田 ^{まあや}真彩さん 1年 ^{ふじまき}藤巻 ^{うたや}詩陽さん 研究テーマ 伊奈ヶ湖の生態系50年間の変化とバッタの視覚特性に関する並行研究 (主な受賞歴) 第69回日本学生科学賞山梨県審査会 県知事賞 第46回山梨県高等学校芸術文化祭 芸術文化祭賞および山梨科学アカデミー賞 ○表彰式について（予定） 日時 令和8年2月2日（月） 16:00～ 場所 県庁別館 正庁 ※当日、大村智先生は出席の予定		

第10回大村智自然科学賞 受賞者の紹介

中学生部門

山梨大学教育学部附属中学校

3年 ^{あめみや}雨宮 ^{ほのか}誉華さん

【主な受賞歴】

サイエンスカンファレンス 2024 研究発表優秀賞

フューチャーEVO. 2025 オーディエンス賞

【研究テーマ】

ヒゲナガカワトビケラの糸の消毒液に対する耐性の評価

【研究内容】

ヒゲナガカワトビケラは河川に生息する水生昆虫であり、水中で石の間に糸をかけて巣を作る性質を持つ。この糸は水中でも接着性があり、強い水流にも耐える強度を持つことから、医療分野など多様な分野への応用が期待できる。これまでに、ヒゲナガカワトビケラの糸の特性はその強度や耐熱性などが報告されているが、消毒液のような基礎的な薬品に対する耐性についてはこれまでに報告がない。そこで消毒液に浸漬したヒゲナガカワトビケラの糸の引っ張りひずみを評価することで、消毒液に対する糸の耐性と医療分野への応用性を評価した。

受賞者には、高校へ進学後も研究を進めるとともに、多くの仲間や外国人留学生、研究者とのディスカッションなどを通し、世界的な研究成果を期待したい。

高校生部門

山梨県立巨摩高等学校 自然科学部

2年 ^{さいとう}齊藤 ^{ゆき}有紀さん ^{まえだ}前田 ^{かんた}柑太さん ^{おの}小野 ^{やまと}大和さん ^{かねこ}金子 ^{しょうた}将大さん
^{よだ}依田 ^{ななみ}那々美さん ^{さかもと}坂本 ^{らいち}蕾一さん ^{いいだ}飯田 ^{まあや}真彩さん
1年 ^{ふじまき}藤巻 ^{うたや}詩陽さん

【主な受賞歴】

第69回日本学生科学賞山梨県審査会 県知事賞

第46回山梨県高等学校芸術文化祭 芸術文化祭賞および山梨科学アカデミー賞

【研究テーマ】

伊奈ヶ湖の生態系 50 年間の変化とバッタの視覚特性に関する並行研究

【研究内容】

巨摩高校に残る 50 年前の伊奈ヶ湖の研究データと、当時の気候とは大きく変化した現在では生態系にも変化があると予想し、実際に伊奈ヶ湖の動植物をマッピングして 50 年前と比較して検証した。その研究活動の中で、バッタはアスファルトと草原を見分け、草原にとどまる行動が観察されたため、バッタがどのような感覚を頼りに草原を認識するのかの検証を並行して行った。

受賞者の方々には、高校生としての研究時間もまだ残されているので、研究のさらなる充実を期待すると共に、未来の科学を担う人材として成長することを期待したい。

(令和8年1月6日 定例教育委員会)

課室名

教育企画室

件名

令和7年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果の概要について

概要

- 1 調査基準日 令和7年12月10日
- 2 調査対象者 6,643人
※県内の中学校85校(国立1、公立77、私立7)の第3学年に在籍する全生徒
(富士見支援学校以外の特別支援学校中学部は含まない。)
- 3 調査目的 毎年度2回(基準日:9/20、12/10)実施することにより、中学校卒業後の進路希望状況を把握し、進路指導等の資料提供をする。

内容

令和7年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果

区 分		希望者数	希望率	前年同期		増減(対前年度)	
				希望者数	希望率	希望者数	希望率
進学希望者		6,572人	98.93%	6,631人	98.90%	▲59人	0.03%
内 訳	(全日制高校・高専)	(5,991人)	(90.19%)	(6,040人)	(90.08%)	▲49人	0.11%
	内 [県内公立高校]	[4,631人]	[69.71%]	[4,782人]	[71.32%]	▲151人	▲1.61%
	[県内私立高校]	[1,160人]	[17.46%]	[1,077人]	[16.06%]	83人	1.40%
	訳 [県外高校・高専]	[200人]	[3.01%]	[181人]	[2.70%]	19人	0.31%
	(定時制高校)	(115人)	(1.73%)	(125人)	(1.86%)	▲10人	▲0.13%
	(通信制高校)	(412人)	(6.20%)	(404人)	(6.03%)	8人	0.17%
	(特別支援学校)	(54人)	(0.81%)	(62人)	(0.92%)	▲8人	▲0.11%
就職希望者		22人	0.33%	24人	0.36%	▲2人	▲0.03%
内	県内就職希望者	19人	0.29%	20人	0.30%	▲1人	▲0.01%
訳	県外就職希望者	3人	0.05%	4人	0.06%	▲1人	▲0.01%
その他		49人	0.74%	50人	0.75%	▲1人	▲0.01%
内 訳	専修学校・各種学校	14人	0.21%	11人	0.16%	3人	0.05%
	外国の高等学校	6人	0.09%	5人	0.07%	1人	0.02%
	無業(家事手伝い等)	14人	0.21%	14人	0.21%	0人	0.00%
	不詳(未定・病気療養中等)	15人	0.23%	20人	0.30%	▲5人	▲0.07%
合計		6,643人	100%	6,705人	100%	▲62人	

◆調査対象者(6,643人)は過去最少(今年度1次調査比▲4人)

◆進学希望者(6,572人)は過去最少

◆県内公立全日制高校希望者(4,631人)は過去最少

◆通信制高校希望者(412人)は過去最多

※過去最多・最少の記述は、記録が残る平成18年度以降の調査結果との比較に基づく

令和7年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査(令和7年12月10日基準日)

全日制公立高等学校希望者

区 分		令和8年度 定 員 (A)	入学希望者数 (B)	倍率 (B)／(A)	前年同期 倍 率
学 校 名	学科(コース)名				
北 杜	普 通	70	62	0.89	0.87
	内 理数コース	25	16	0.64	0.48
	数 コースのみ	－	2	－	－
	総合学科	90	75	0.83	0.83
	計	160	137	0.86	0.85
韭 崎	普 通	180	200	1.11	1.11
	文 理	30	25	0.83	1.20
	計	210	225	1.07	1.12
韭崎工業	工 業(一括募集)	154	122	0.79	0.63
甲府第一	普 通	150	159	1.06	1.13
	探 究	60	53	0.88	0.87
	計	210	212	1.01	1.05
甲府西	普 通	200	184	0.92	1.03
甲府南	普 通	175	166	0.95	1.41
	理 数	40	55	1.38	1.35
	計	215	221	1.03	1.40
甲府東	普 通	214	310	1.45	1.37
	内 理数コース	40	61	1.53	1.20
	数 コースのみ	－	11	－	－
甲府工業	機 械	80	80	1.00	0.90
	電 気	80	84	1.05	0.91
	建 築	40	40	1.00	0.85
	土 木	40	30	0.75	0.65
	電 子	40	40	1.00	1.33
	計	280	274	0.98	0.92
甲府城西	総合学科	235	228	0.97	1.15
甲府昭和	普 通	213	251	1.18	1.15
農 林	システム園芸	28	26	0.93	0.79
	森林科学	27	22	0.81	0.52
	環境土木	27	19	0.70	0.93
	造園緑地	27	15	0.56	0.56
	食品科学	28	28	1.00	1.07
	計	137	110	0.80	0.77
巨 摩	普 通	180	176	0.98	1.02
	内 理数創造コース	40	36	0.90	0.68
	数 コースのみ	－	12	－	－
白 根	普 通	124	108	0.87	0.84
青 洲	普 通	137	167	1.22	0.91
	工 業(一括募集)	60	57	0.95	0.93
	商 業(一括募集)	70	75	1.07	0.83
	計	267	299	1.12	0.89
身 延	総合学科	75	31	0.41	0.51

前期募集 人 (C)	前期希望者数 (D)	倍率 (D)／(C)	前年同期 倍 率
28	22	0.79	0.86
10	8	0.80	0.30
－	2	－	－
45	37	0.82	1.29
73	59	0.81	1.12
54	72	1.33	1.43
9	14	1.56	1.78
63	86	1.37	1.48
61	47	0.77	0.82
30	28	0.93	1.27
18	22	1.22	1.17
48	50	1.04	1.23
60	62	1.03	1.43
35	36	1.03	2.00
12	26	2.17	1.83
47	62	1.32	1.95
32	63	1.97	1.50
6	8	1.33	1.67
－	8	－	－
40	38	0.95	0.88
40	46	1.15	1.05
20	22	1.10	1.05
20	18	0.90	0.45
20	13	0.65	1.25
140	137	0.98	0.94
105	112	1.07	1.02
53	65	1.23	1.24
11	6	0.55	0.91
10	3	0.30	0.60
10	8	0.80	0.70
10	6	0.60	0.50
11	11	1.00	1.09
52	34	0.65	0.77
72	82	1.14	1.22
16	17	1.06	0.88
－	9	－	－
49	50	1.02	0.92
41	60	1.46	1.12
24	18	0.75	0.92
28	36	1.29	0.68
93	114	1.23	0.94
37	8	0.22	0.49

区 分		令和8年度 定 員 (A)	入学希望者数 (B)	倍率 (B)／(A)	前年同期 倍 率
学 校 名	学科(コース)名				
笛 吹	普 通	69	57	0.83	0.88
	食品化学	30	31	1.03	0.90
	果樹園芸	30	21	0.70	0.90
	総合学科	85	50	0.59	1.02
	計	214	159	0.74	0.94
日 川	普 通	195	185	0.95	1.10
山 梨	普 通	137	123	0.90	0.99
塩 山	普 通	67	29	0.43	0.42
	内 英数コース	25	0	0.00	0.12
	数 コースのみ	—	0	—	—
	商 業(一括募集)	42	18	0.43	0.26
	計	109	47	0.43	0.36
都 留	普 通	170	155	0.91	0.98
上 野 原	総合学科	78	53	0.68	0.65
都留興譲館	普 通	62	54	0.87	0.68
	英語理数	25	11	0.44	0.48
	工 業(一括募集)	96	64	0.67	0.59
	計	183	129	0.70	0.61
吉 田	普 通	174	195	1.12	0.97
	理 数	40	47	1.18	0.93
	計	214	242	1.13	0.96
富士北稜	総合学科	214	174	0.81	0.87
富士河口湖	普 通	152	132	0.87	0.97
甲府商業	商 業	150	175	1.17	1.13
	情報処理	90	83	0.92	0.89
	計	240	258	1.08	1.04
2 6 校 計		4,780	4,545	0.95	0.97
甲 陵	普 通	80	86	1.08	1.08
県 内 公 立 計		4,860	4,631	0.95	0.97
県 外 公 立 計		—	62	—	(39)

前期募集 人 (C)	前期希望者数 (D)	倍率 (D)／(C)	前年同期 倍 率
20	20	1.00	1.00
15	15	1.00	1.07
15	9	0.60	1.07
42	29	0.69	1.05
92	73	0.79	1.04
78	82	1.05	0.99
41	46	1.12	1.00
26	11	0.42	0.46
10	0	0.00	0.20
—	0	—	—
16	14	0.88	0.31
42	25	0.60	0.40
42	47	1.12	0.79
15	10	0.67	1.07
12	10	0.83	0.78
7	3	0.43	0.57
28	25	0.89	1.00
47	38	0.81	0.87
34	58	1.71	0.95
6	8	1.33	1.67
40	66	1.65	1.05
53	50	0.94	0.76
45	37	0.82	1.07
75	87	1.16	1.08
45	40	0.89	0.84
120	127	1.06	0.99
1,600	1,632	1.02	1.03
48	46	—	—

- ※「前年同期倍率」欄は、昨年度の第2次進路希望調査における倍率
 ※「倍率」及び「前年同期倍率」については、小数点以下第三位を四捨五入
 ※「前年同期倍率」欄の()は、前年同期の入学希望者数
 ※「内数」欄の「〇〇コース」は、普通科のうち同コースを希望した者の数。「コースのみ」欄は、この「〇〇コース」希望者のうち、コース指定に漏れた場合に当該高校の普通科を希望しない者の数
 ※ 韮崎工業高校は、全学科(電子機械科・電気科・情報技術科・環境化学科・システム工学科・制御工学科)を一括して募集
 ※ 青洲高校は、工業二学科(機械工学科・土木工学科)、商業二学科(ビジネス探究科、ビジネス情報科)をそれぞれ一括して募集
 ※ 塩山高校は、商業二学科(商業科・情報ビジネス科)を一括して募集
 ※ 都留興譲館高校は、工業四学科(機械工学科・電子工学科・制御工学科・環境工学科)を一括して募集
 ★ 北杜市立甲陵高校について
 ① 県立高校(甲府商業を含む)とは異なる独自方式による入試を実施する。
 ② 令和8年度定員(A)は、県内定員のみであり、入学希望者数(B)に甲陵中学校の生徒(内進生)を含む。
 ③ 前期募集人員(C)は、県内外一括募集であり、前期募集希望者数(D)に甲陵中学校の生徒(内進生)を含まない。
 県外募集者の状況は現時点では不明なことから、前期募集における倍率は算出しない(前年同期倍率も同様)。

私立高等学校希望者

区 分		令和8年度 募集人員	希望者数	倍 率	前年同期 倍 率
学 校 名	学 科 名				
山梨英和	普 通	120	62	0.52	0.58
身 延 山	普 通	40	14	0.35	0.35
甲斐清和	普 通	260	107	0.41	0.48
	音 楽	20	7	0.35	0.35
	計	280	114	0.41	0.47
駿台甲府	普 通	270	300	1.11	0.93
	美術デザイン	60	44	0.73	1.07
	計	330	344	1.04	0.95
山梨学院	普 通	430	213	0.50	0.49
東海大学付属甲府	普 通	250	128	0.51	0.38
日本航空	普 通	240	74	0.31	0.26
	航 空		1		
	計	240	75	0.31	0.26
日本大学明誠	普 通	320	29	0.09	0.09
帝京第三	普 通	150	56	0.37	0.35
富士学苑	普 通	150	103	0.69	0.60
自然学園	普 通	28	22	0.79	0.21
県 内 私 立 計		2,338	1,160	0.50	0.46
県 外 私 立		-	121	-	(128)

※「倍率」及び「前年同期倍率」については、小数点以下第三位を四捨五入

※「前年同期倍率」欄の()は、前年同期の入学希望者数

定時制公立高等学校希望者

区 分		令和8年度 募集人員	希望者数	倍 率	前年同期 倍 率
学 校 名	学 科 名				
韭 崎	普 通	40	10	0.25	0.30
甲府工業	工 業(一括募集)	120	8	0.07	0.06
巨 摩	普 通	40	3	0.08	0.13
山 梨	普 通	40	6	0.15	0.23
都 留	普 通	40	3	0.08	0.03
中央	昼間	普 通	60	0.30	0.37
		普 通	60	0.37	0.47
		情報経理	40	0.10	0.15
		計	160	0.28	0.35
	夜間	普 通	20	0.00	0.15
		情報経理	20	0.00	0.00
		計	40	0.00	0.08
		計	200	0.22	0.30
	昼間	普 通	30	0.87	0.80
		情報経理	30	0.33	0.17
		計	60	0.60	0.48
ひばりが丘	夜間	普 通	30	0.13	0.07
	計	90	40	0.44	0.34
県 内 定 時 制 計		570	114	0.20	0.22
県 外 定 時 制 計		-	1	-	(1)

※「倍率」及び「前年同期倍率」については、小数点以下第三位を四捨五入

※「前年同期倍率」欄の()は、前年同期の入学希望者数

※甲府工業高校は、全学科(機械科・電気科・建築科)を一括して募集

通信制高等学校希望者

区 分	令和8年度 定 員	希望者数	倍 率	前年同期 倍 率
中 央 通 信 制	200	37	0.19	0.23
県立中央高校以外の通信制	-	375	-	(358)
通 信 制 計	-	412	-	(404)

※「倍率」及び「前年同期倍率」については、小数点以下第三位を四捨五入

※「前年同期倍率」欄の()は、前年同期の入学希望者数

特別支援学校希望者

単位:人

学 校 名	学 科	希望者数	前年同期
盲学校	普通科	0	1
	保健医療科	0	0
ろう学校	普通科	0	0
甲府支援学校	普通科	0	1
あけぼの支援学校	普通科	1	0
わかば支援学校	普通科	7	6
やまびこ支援学校	普通科	3	1
ふじざくら支援学校	普通科	4	7
かえで支援学校	普通科	4	6
桃花台学園	産業技術科	34	39
山梨大学附属特別支援学校	普通科	1	1
県 内 特 別 支 援 学 校 計		54	62
県 外 特 別 支 援 学 校 計		0	0
合 計		54	62

入学希望者数における第2希望の状況

学 校 名	第2希望学科	計	前年同期
北 杜	普 通	19	17
	総合学科	22	28
韭 崎	普 通	13	26
	文 理	10	3
甲府第一	普 通	34	42
	探 究	0	1
甲 府 南	普 通	43	47
	理 数	1	2
青 洲	普 通	7	5
	工業(一括募集)	16	16
	商業(一括募集)	52	35
笛 吹	普 通	20	35
	総合学科	20	37
	食品化学	0	—
	果樹園芸	1	—
都留興譲館	普 通	13	9
	英語理数	1	1
	工業(一括募集)	15	12
吉 田	普 通	42	34
	理 数	0	0
合 計		329	350

※志願先高等学校に普通科、専門教育学科、総合学科、職業に関する学科の2学科以上が設置されている場合、次に示す学科間で第2希望まで志望順位を付けることができる。

- ・普通科と専門教育学科
- ・青洲高等学校の各学科
- ・都留興譲館高等学校の普通科と工業科
- ・北杜高等学校の普通科と総合学科
- ・笛吹高等学校の普通科と総合学科、食品化学科と果樹園芸科

全日制高等学校学科別進学希望者数 [県内 公立・私立]

学科名	今回		本年度第1次調査		前年同期	
	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比
普通科	3,907	67.46	3,974	67.89	3,923	66.96
理数科	102	1.76	105	1.79	91	1.55
文理科	25	0.43	35	0.60	36	0.61
英語理数科	11	0.19	8	0.14	12	0.20
探究科	53	0.92	50	0.85	52	0.89
総合学科	611	10.55	661	11.29	720	12.29
美術デザイン	44	0.76	46	0.79	64	1.09
音楽科	7	0.12	6	0.10	7	0.12
航空科	1	0.02	4	0.07	7	0.12
農業科	162	2.81	121	2.07	160	2.73
工業科	517	8.93	507	8.66	468	7.99
商業科	351	6.06	337	5.76	319	5.44
計	5,791	100	5,854	100	5,859	100

※小数点以下第三位を四捨五入しているため、構成比の計は一致しないことがある。

全日制高等学校学科別進学希望者数 [県内公立]

学科名	入学希望者数						前期募集希望者数					
	今回		本年度第1次調査		前年同期		今回		本年度第1次調査		前年同期	
	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比
普通科	2,799	60.42	3,086	62.85	2,924	61.15	897	53.46	1,134	57.19	863	51.15
理数科	102	2.20	105	2.14	91	1.90	34	2.03	44	2.22	32	1.90
文理科	25	0.54	35	0.71	36	0.75	14	0.83	13	0.66	16	0.95
英語理数科	11	0.24	8	0.16	12	0.25	3	0.18	4	0.20	4	0.24
探究科	53	1.14	50	1.02	52	1.09	22	1.31	26	1.31	21	1.24
総合学科	611	13.19	661	13.46	720	15.06	246	14.66	285	14.37	304	18.02
農業科	162	3.52	121	2.46	160	3.35	58	3.46	52	2.62	72	4.27
工業科	517	11.16	507	10.33	468	9.79	227	13.53	232	11.70	232	13.75
商業科	351	7.58	337	6.86	319	6.67	177	10.55	193	9.73	143	8.48
計	4,631	100	4,910	100	4,782	100	1,678	100	1,983	100	1,687	100

※小数点以下第三位を四捨五入しているため、構成比の計は一致しないことがある。

※前期募集希望者数の希望者及び構成比については、今回及び前年同期ともに甲陵高校に甲陵中学から進学を希望する生徒(内進生)を除いて算出した数である。

全日制高等学校における進学希望の高い学科[県内公立]

入学希望									前期募集								
今回			本年度第1次調査			前年同期			今回			本年度第1次調査			前年同期		
学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率
甲府東	普通	1.45	甲府東	普通	1.68	甲府南	普通	1.41	甲府南	理数	2.17	甲府東	普通	3.21	甲府南	普通	2.00
甲府南	理数	1.38	甲府昭和	普通	1.51	甲府東	普通	1.37	甲府東	普通	1.97	甲府南	理数	2.50	甲府南	理数	1.83
青洲	普通	1.22	甲府南	理数	1.43	甲府南	理数	1.35	吉田	普通	1.71	吉田	理数	2.33	韭崎	文理	1.78
甲府昭和	普通	1.18	甲府工業	電子	1.43	甲府工業	電子	1.33	韭崎	文理	1.56	吉田	普通	2.22	吉田	理数	1.67
吉田	理数	1.18	韭崎	普通	1.32	韭崎	文理	1.20	青洲	普通	1.46	甲府昭和	普通	1.98	甲府東	普通	1.50

【令和8年1月6日 定例教育委員会】

課名

保健体育課

件名

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

全国の調査結果の概要

- ・体力合計点は、小中学校男女ともに前年度から向上しているが、中学校男子を除いてコロナ前の水準に至っていない
- ・「運動やスポーツが好き」な児童生徒は「1週間の運動時間」が長くなる傾向にある。
- ・運動時間が長い児童生徒ほど、体力合計点が高くなる傾向にある。
- ・1週間の総運動時間が420分以上の割合は、小中学校男女ともに減少傾向である。
- ・「運動は好き」と答えた児童生徒は、小中学校男子で増加傾向、小中学校女子で減少傾向である。

山梨県の調査結果の概要

1 調査の概要

- 対象：小学校、特別支援学校小学部第5学年 中学校、特別支援学校中学部第2学年
- 参加学校数、生徒数：小学校、特別支援学校169校 5,622名
中学校、特別支援学校80校 4,907名
- 調査事項：実技に関する調査8種目、運動習慣、生活習慣等に関する調査、他

2 体力・運動能力の状況

(1) 体力合計点

※体力合計点とは、50m走やボール投げなどの8種目の測定値を、それぞれ10点満点に変換し、合計した得点

【体力合計点平均値の全国との差】

※（ ）は令和6年度の得点

		全国平均値	本県平均値	全国平均値との差
小学校	男子	53.02(52.53)点	51.92(52.17)点	-1.11(-0.36)
	女子	53.97(53.92)点	53.21(53.48)点	-0.76(-0.44)
中学校	男子	42.20(41.86)点	43.45(44.02)点	+1.25(+2.16)
	女子	47.54(47.37)点	48.93(48.60)点	+1.39(+1.23)

- ・体力合計点の本県の平均値は、小学校では男女ともに、全国平均値を下回った。
- ・中学校では男女ともに、全国平均値を上回った。特に中学校男子は、令和6年度より体力合計得点が減少したもののコロナ前の水準を上回っている。

(2) 各種目の状況

①全国平均値との比較（小学校）

※（ ）は令和6年度の県と全国平均値との差

	男 子			女 子		
	本県平均値	全国平均値との差		本県平均値	全国平均値との差	
握力(kg)	15.83	-0.13 (-0.07)		15.47	-0.14 (-0.10)	
上体起こし(回)	19.11	-0.35 (-0.30)		18.49	+0.13 (-0.36)	☆○
長座体前屈(cm)	33.07	-0.81 (-0.41)		37.32	-0.83 (-0.01)	
反復横とび(回)	40.56	-0.33 (+0.53)		38.57	-0.13 (+0.39)	
20mシャトル(回)	44.12	-3.82 (-2.30)		33.79	-3.06 (-3.29)	
50m走(秒) ※	9.54	+0.08 (-0.02)		9.86	+0.09 (+0.02)	
立ち幅とび(cm)	147.26	-3.67 (-1.67)		140.29	-2.05 (-1.55)	
ソフトボール投げ(m)	20.60	-0.46 (-0.15)		13.56	+0.45 (+0.47)	☆

※ 50m走の(-)は数値が良いこと、(+は数値が悪いこと)を示す。

※ ☆印は、全国平均値以上を表す。

※ ○印は、令和6年度の県平均値を上回り、かつ令和6年度より全国平均値との差が向上したことを表す。

- ・女子の上体起こしとソフトボール投げは、全国平均値を上回った。
- ・男子は、すべての種目で全国平均を下回った。
- ・男女ともに反復横跳び、20mシャトル、50m走、立ち幅跳びの記録が全国平均を下回っており、全身持久力、走力、瞬発力に課題がみられる。

②全国平均値との比較（中学校）

※（ ）は令和6年度の県と全国平均値との差

	男 子			女 子		
	本県平均値	全国平均値との差		本県平均値	全国平均値との差	
握力(kg)	30.07	+1.12 (+1.39)	☆	23.83	+0.68(+0.55)	☆○
上体起こし(回)	26.28	+0.19 (+0.64)	☆	21.87	+0.17(+0.38)	☆
長座体前屈(cm)	46.14	+1.02 (+0.96)	☆○	46.41	-0.58(+0.19)	
反復横とび(回)	52.53	+0.89 (+1.04)	☆	46.26	+0.52(+0.58)	☆
20mシャトルラン(回)	78.99	+0.17 (+1.05)	☆	51.23	+0.63 (-0.39)	☆○
50m走(秒) ※	7.93	-0.07(-0.06)	☆○	8.86	-0.11(-0.06)	☆○
立ち幅とび(cm)	196.73	-0.78(+1.76)		167.20	+0.76 (-0.17)	☆○
ソフトボール投げ(m)	21.26	+0.52 (+0.41)	☆○	13.08	+0.65(+0.47)	☆○

※ 50m走の(-)は数値が良いこと、(+は数値が悪いこと)を示す。

※ ☆印は、全国平均値以上を表す。

※ ○印は、令和6年度の県平均値を上回り、かつ全国平均値との差が向上した。

- ・男子は立ち幅跳び以外の7種目、女子は長座体前屈以外の7種目が全国平均値を上回った。
- ・男子は3種目、女子は5種目において、令和6年度と比較し全国平均値との差も向上した。

3 運動習慣の状況

(1) 1週間の総運動時間

1週間で420分以上運動を行う児童生徒の割合

		R 4	R 5	R 6	R7	R7国の割合	全国との差
小学校	男子	54.1%	52.8%	56.4%	54.4%	47.9%	+6.5%
	女子	34.0%	30.9%	31.0%	33.7%	26.4%	+7.3%
中学校	男子	84.9%	82.7%	82.7%	81.3%	75.4%	+5.9%
	女子	63.9%	63.9%	63.1%	65.2%	54.6%	+10.6%

- ・1週間の総運動時間420分以上と答えた児童生徒の割合は、小中学校の男女全てにおいて全国の割合を上回った。前年度と比較して、全国平均値との差も大きくなった。

(2) 運動やスポーツに対する意識の状況

「運動やスポーツが好き・やや好き」と回答した児童生徒の割合

		R 4	R 5	R 6	R7	R7全国平均値	全国平均値との差
小学校	男子	94.6%	94.8%	94.9%	94.2%	93.4%	+0.8%
	女子	90.1%	88.2%	89.1%	88.4%	85.8%	+2.6%
中学校	男子	90.6%	90.4%	91.9%	91.7%	91.1%	+0.6%
	女子	78.4%	77.8%	78.1%	79.4%	77.3%	+2.1%

- ・運動に対して肯定的な回答（「運動が好き」または「運動がやや好き」）をした児童生徒の割合は、小中学校の男女ともに全国平均値を上回った。
- ・特に、女子の肯定的回答の割合は、全国平均値より2ポイント以上高い。

4 考察

- ・県では、小学生を対象に投げる動き含む運動遊びを指導する「もっと楽しい体育授業で体力アップ事業」を展開してきたが、ソフトボール投げの結果から一定の効果が見られた。
- ・一方で、小学校の体力合計点が前年度を下回った要因としては、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びの結果から、全身持久力、走力、瞬発力の低下が考えられる。
- ・今後は、投動作だけでなく、走跳の動きを意図的に取り入れた運動遊びを推進する必要がある。
- ・「運動やスポーツに対する意識」に肯定的な回答が多い要因として、各校で運動の楽しさを感じられる体育授業の実践を行うとともに、休み時間や学校行事等においても運動に親しむ取組を行っていることの成果であると考えられる。
- ・今年度の中学校男女は、7種目で全国平均値を上回っているが、この学年の生徒が小学校5年時の段階（R4年度調査）では、女子のソフトボール投げを除く全ての種目で全国平均値を下回っていた。小学校段階では運動の楽しさを実感する取組を重視し、中学校では運動に意欲的な生徒に体力向上に資する授業や指導を行うことの成果が表れている。（R4からR7の記録の向上）

5 今後の対応策

- 児童生徒が運動の楽しさを実感し、自ら進んで運動に取り組む習慣づくりを目指す。
 - ・健康・体力づくり一校一実践運動〈小・中学校〉
- 特に、小学生には、課題である走・跳の運動遊びのプログラムを学校訪問等で広げていく。
 - ・アクティブキッズプログラム促進プラン〈小学校〉
 - ・目指せ！やまなしチャンピオン！〈小学校〉
- 幼児教育段階からの運動遊びを推進する。
 - ・子どもの運動遊び「プレイリーダー講習会」〈幼保・小学校〉